



中秋の名月



『十五夜』は、『満月』のことを表します。新月から満月になるまで約15日程かかるため、それにちなんで『十五夜』と呼ばれるようになりました。

なかでも旧暦の8月15日（現在の9月20日ごろ）の満月は、1年でもっとも明るく美しいとされる満月がみられることから「中秋の名月」といわれるようになりました。

◆月見だんごとススキの意味

十五夜というのは、秋の収穫する感謝をするという風習があり、秋に収穫された作物で作ったもの＝団子という意味があります。また、お供えする団子は満月に見立てて、米粉を丸めて作ります。

そして、ススキをお供えするのにも、とても重要な意味があります。本来ならば、月の神様の依り代は稲穂となるのですが、この時期はまだ稲穂が実る前なので、稲穂にそっくりなススキを代わりとしてお供えしたのです。またススキは切り口が鋭いことから魔除けになるとも考えられ、飾るようになったと言われています。

